5. 重点整備地区等の選定

貝料

5. 重点整備地区等の選定

5.1 ゾーン評価

5.1.1 地区別評価の考え方に基づく重点整備地区(候補)の抽出

前項の地区別評価の考え方に基づき地区毎に評価得点を算出した結果は、以下のとおりである。この内、ゾーン毎に評価の高い地区を抽出し、これをもって「重点整備地区(候補)」 (1)とする。

1:「重点整備地区(候補)」の選出にあたっては、全国レベルの整備率を確保するために、 交通バリアフリー法における特定旅客施設の選定要件(乗降客数 5,000 人/日以上)の 全国カバー率(2)に準じ、松戸市内鉄道駅の全利用者数の約9割をカバーできる地区 を、評価得点の高い地区から順に選定する。

【722,326 > 713,808(=793,120(小金城趾地区 1,853、松飛台地区 3,672、秋山地区 3,988 を含む市内全乗降客数合計) *0.9) (単位:人/日)】

2:交通バリアフリー法では、平成22年(2010年)までに乗降客数5,000人/日以上の駅でバリアフリー化を実現することにより、鉄道駅の全利用者数の9割をカバー出来ることになる。

2

3

1

5

6

7

0

5.1.2 ゾーン評価結果について

ゾーン毎に含まれる地区の得点を合算した結果、以下のとおりとなった。

ゾーン (101 点) · (61 点): 非常に得点が高く、バリアフリー化の必要性·整備効果が非常に高いと推定されること

から、最優先に改善すべきゾーンであると考えられる。

ゾーン (40 点) 比較的点数が高く、ゾーン に次いで<u>優先して</u>改善すべきゾーンであると考えられ

る。

ゾーン (4点) · (8点) :比較的点数が低く、バリアフリー化の必要性·整備効果が比較的低いと推定されること

から、整備にあたっては引続き検討を要するゾーンであると考えられる。

表 5.1 ゾーン・地区と重点整備地区(候補)

ゾーン	地域	地区	地区	評価	ゾーン評価		乗降客数	
	-6-20	2012	-06	H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ゾーン得点	7\P4	ゾーン合
			順位	得点合計	順位	クーク特点 合計	地区別	シーンロ 計
	松戸	松戸	1	101	1	101	318,872	318,872
ゾーン	新松戸·馬橋	新松戸・幸谷	3	20	2	61	83,910	241,524
	・古ヶ崎・小	馬橋	4	16			60,398	
	金・小金原	北小金	5	14			53,354	
		北松戸	6	11			43,862	
ゾーン	党般亚• ☆宝	新八柱・八柱	2	21	3	40	81,648	167,313
		五香	7	8			32,391	
		常盤平	9	5			18,607	
		六実	10	4			16,436	
		元山	12	2			18,231	
ゾーン	明	上本郷	11	2	5	4	7,120	20,274
		みのり台	15	1			7,890	
		松戸新田	14	1			5,264	
ゾーン	東部・矢切	東松戸	8	7	4	8	29,284	35,624
		矢切	13	1			6,340	
	_	_					783,607	-

重点整備地区(候補)

乗降者数:平成15年度統計書より(平成14年度データ)。

データが乗車人員のみの場合は、同数が降車すると仮定して算出。

5.2 重点整備地区の選定

これまでの検討を踏まえて、重点整備地区等を以下のように選定する。

表 5.2 重点整備地区等の選定

ゾーン	重点整備地区	整備推進地区	整備検討地区
	(平成 22 年(2010 年)までに 数供なけ数供に差毛。)	(平成 22 年 (2010 年)までに	(引続き整備を検討。)
	整備又は整備に着手。)	着手を目標。)	
ゾーン	松戸地区		
ゾーン	新松戸・幸谷地区	馬橋地区	
		北小金地区	
		北松戸地区	
ゾーン		新八柱・八柱地区	六実地区
		五香地区	元山地区
		常盤平地区	
ゾーン			上本郷地区
			みのり台地区
			松戸新田地区
ゾーン		東松戸地区	矢切地区

ゾーンの評価により「<u>最優先に改善すべき</u>」としたゾーン 、ゾーン より、1 地区づつ 選出したものをもって「重点整備地区」とする。

また、ゾーン毎の重点整備地区の選定にあたっては、「地区別評価」の高い順から、ゾーンにおいては「松戸地区」、ゾーンにおいては「新松戸・幸谷地区」を選出する。

また、「整備推進地区」については、「重点整備地区」の次に優先して改善すべき地区としているが、事業着手までに5年以上の期間を要することが予測されることから、着手直前にその時点の現状に合わせて地区別評価等を調整し、再選定を行うこととする。

重点整備地区として整備に取組む以前においては、他事業の進捗等に合せ、エレベーターの設置等、個別にバリアフリー化を推進する。

なお、「松戸地区」、「新松戸・幸谷地区」については、松戸市都市計画マスタープランにおいてもバリアフリーの観点から「快適な歩行者空間の整備」および「駅前交通広場の整備(候補)」を推進する地区として位置づけられている。

3

4

5

6

7

0

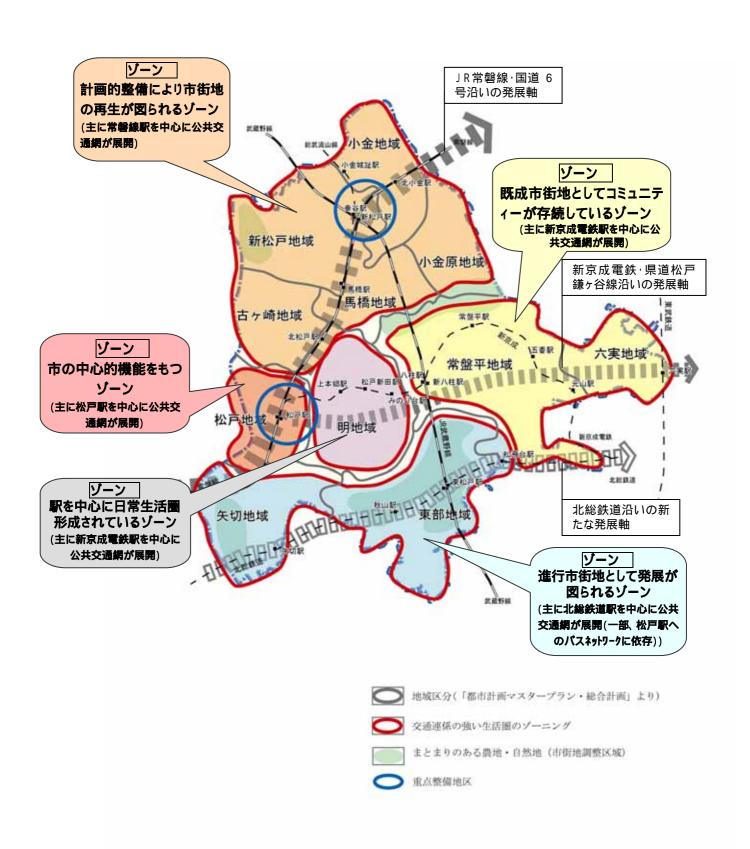


図 5.1 地域区分を基にした生活圏間の交通連携の強いエリアのゾーニング

5.2.1 地区別評価の考え方

(1) 地区別評価の流れ

地区別の評価は、以下に示す流れで行った。

- 1)松戸市内23駅の現況調査
- ・松戸市内の23駅の段差の状況や段差解消施設の設置状況等、移動円滑化に関わる情報を整理する。

2)主要施設の選定

- ・ 駅周辺の公共、公益性の高い施設、不特定多数の来訪者が見込まれる施設等施設選定 の目安となる基準を設ける。
- ・ 選定基準を目安に駅周辺の施設を選定する。また、これと合わせ、駅と施設を結ぶ経路の選定を行う。

3)地区カルテの作成

・ 特定旅客施設を中心とした地区の現状を整理した地区カルテを作成する。 (駅周辺の施設立地状況、駅からの移動経路等の情報を整理)

4)地区別評価の実施

- 特定地区のバリアフリー化に対する整備状況を評価し、地区別評価を行う。
- ・ 1)で整理した現況をもとに駅の移動円滑化に関わる評価項目を整理する。
- ・ 2)で整理した現況をもとに駅を中心とした地区の移動円滑化に関わる評価項目を整理する。
- ・ 3)で整理した現況をもとに、駅と駅周辺の施設を結ぶ経路の移動円滑化に関わる評価項目を整理する。

5)地区別の総合評価

・ 4)で整理した3つの現況評価(駅の評価、地区の評価、経路の評価)をまとめ、松戸市内にある乗降客数5,000人/日以上の駅を中心とした地区18地区の地区別の評価とする。

•

2

3

4

5

6

7

8

5.3 現況調査に基づく地区別評価

5.3.1 松戸市内の駅の現況調査

特定旅客施設(鉄道駅)の現状を把握するため、松戸市内の全駅を対象に現地踏査を行い、 段差の状況等、移動の円滑化に関わる施設の整備状況を確認した。

表 5.3 調査項目について

「乗降者数」	平成15年度統計書より(平成14年度データ)乗車人員データのみ の場合は、同数が降車すると設定。
「高齢者乗降者数」	「乗降者数」に駅勢圏別高齢者割合を掛け合わせたもの。高齢者割合は、平成15年12月31日住民基本台帳調べを用いる。
「ホーム数」	駅のホームの数を記述。ホームの面数であり、「番線」の数ではない。
「昇降設備設置」	上記ホームの数の内、何らかの昇降設備(階段は除く)が設置されて いるホームの数を記述。
「内障害者対応」	上記昇降設備設置のホームの内、車いすで利用できる昇降設備が設置されたホームの数を記述。
「ホームの昇降設備」	上記昇降設備設置のホームについて、設置されている昇降設備の基数 を設備の種類毎に記述。
	カッコ内の数値は、その内の車いすで利用できる昇降設備の基数(内書き)を記述。
	* E V = エレベーター
	* E S C = エスカレーター
	(上向き矢印) = エスカレーターの運転方向を、上向きで運転
	している基数
	(下向き矢印) = エスカレーターの運転方向を、下向きで運転
	している基数
	*リフト = 斜行リフト
	*スロープ = 傾斜路
	*エレベーター設置 = 上記ELVの設置基数
	*エスカレーター設置 = 上記ESCの設置基数
「階段手摺り」	1段のものは「 」を2段のものは「 」を記述した。
「障害者用トイレ」	車いすで利用できるトイレが設置されている場合、『 』を記述。駅 舎内又は隣接して設置されている場合も含む。
「誘導警告プロック」	ホームに誘導用又は警告用、いずれかのブロックが設置されている場合『 』を記述。
「点字券売機」	駅施設として設置されている、それぞれの機器台数を記述。
「段差概況」	ラチ内の段差の概況を記述する。
「自由通路」	駅施設内にあって、一般の人が乗車券等が無くても、線路を横断でき る通路と定義し、列車の運行時間のみ利用可能なものを含む。

表中()括弧内の数字は、車いすで利用できる昇降設備の基数 **(平成15年3月25日時点)**

5

6

7

乗降者数:平成15年度統計書より(平成14年度データ) データが乗車人員のみの場合は、同数が降車すると仮定して算出。

8

資料

ESC:南口1 3階 連続2段 南口へ迂回可能であるが、途中に踏み切りあり (24時間) 西口:駅ビルEV利用のためのスロ-7.工事中 東口:EV設置工事中 駅前広場を経由し、ESC設置側に移動可能 駅ビルEV利用可 (利用時間制限あり) 駅ビルEV利用可(利用時間制限あり) ホ-AESC時間帯によって昇降方向可変 商業施設内EV利用可 (利用時間制限あり) 駅ビルEV利用可 備考欄 유 7 _ 171 5 3(1) ESC - - - - -_ 2 - 2 2 2 7 2 2 2 2 7 自田 路の有 無 **H**ル段差 あり ドレ段差 あり かり 大レ段差 あり トレ段差 あり あり ホ-ム手前 段差あり MV段差 あり MV段差 あり 1下通路 内 なし 化段差 あり 段差概況 なし なし なし なし なし なし なし なし 10 2 7 4 7 4 9 2 4 က 7 7 က က 2 _ 9 4 7 駅舎施設 171 1(1) £ ESC 33 4 (2) νE 2 2 7 7 N 0 7 က -- ムの水 昇降設 備設置 7 က ~ ~ _ _ _ 7 က - က - _ 7 7 7 7 7 7 7 7,120 乗降客数 (人/日) 206,366 112,506 76,280 54,008 53,354 43,862 41,258 18,607 16,436 18,292 10,992 7,630 40,390 18,231 7,890 6,340 3,988 3,672 1,853 6,390 32,391 5,264 1 総武流山 小金城址 電鉄線 新松戸 北小金 北松戸 新八柱 鴻 上 本 郷 松戸新田 東松戸 東松戸 みのり台 松戸 松戸 ¥ ₩ 五香 火黑 出出 矢切 秋日 駅名 幸 馬橋 馬橋 北総·公団 纂 総武流山 総武流山電鉄 電鉄線 総武流山 総 武 流 山 電鉄 電鉄線 武蔵野線 JR東日本 武蔵野線 新京成線 新京成線 新京成線 新京成線 新京成線 新京成線 新京成線 路線名 新京成線 完整線 常磐線 東武鉄道 野田線 JR東日本 常磐線 JR東日本 常磐線 JR東日本 常磐線 総武流山線電鉄電鉄 JR東日本 JR東日本 北総鉄道 事業者名 JR東日本 新京成 新京成 新京成 新京成 北総鉄道 北総鉄道 北総鉄道 新京成 新京成 新京成 新京成 MNO. 13 9 7 12 4 15 16 17 8 19 20 22 23 4 2 7 2 က 9 ω o 됐 징 징 10 11 13 15 16 17 18 _ 7 က 4 2 ω 12 4 9 6

駅の現況整理

5.4

表

5.3.2 地区カルテの整理

地区毎に公共施設、医療施設、福祉施設、教育施設、大規模商業施設、その他必要と考えられる施設の6分類の主要施設について立地状況の調査を行った。さらに、各々の地区において施設規模や利用者数等が同分類の施設中でも著しく大きい施設を重要施設として個別に抽出を行った。

なお、抽出した施設と駅から施設に至る経路は地区別カルテとして整理を行った。

(1) 主要施設の抽出

「高齢者、身体障害者等が日常生活又は社会生活において利用すると認められる官公庁施設、 福祉施設、その他の施設(交通バリアフリー法 第二条)」は、

- ハートビル法の対象となる施設
- ・ 松戸市人にやさしい公共施設整備設計指針に示される施設
- ・ 千葉県福祉のまちづくり条例に示される特定施設

の3つ(基本的には、ハートビル法)に掲げられている施設の種類を参考に、「公共施設」、「医療施設」、「福祉施設」、「教育施設」、「大規模商業施設」、および、これら以外で駅周辺の施設として特記すべき施設を「その他施設」とし、6区分の施設を抽出する。抽出にあたっては、主要施設の選定の目安となる基準を設けた。

表 5.5 主要施設の選定基準

			主要施設の選定基準
١	官公庁等	行政サービ	保健所、税務署その他不特定多数の者が利用する官公署等を対象とす
1	行政施設	ス施設	る。(高齢者、身体障害者等が日常生活又は社会生活においてほとんど
			利用しないと考えられる消防、警察署、拘置所等については対象外とす
			る。ただし、駅前交番等不特定多数の者の利用がある施設については個
			別に検討する。)
		集会	公民館、市民センター等地区別に配置されている施設は、徒歩圏内かつ
		施設	公共交通機関を利用しない施設であることから対象外とする。
		文化施設	博物館、美術館又は図書館等を対象とする。
		スポーツ	体育館(一般公共の用に供されるものに限る。) 水泳場(一般公共の用
		施設	に供されるものに限る。) 等を対象とする。
1	福祉施設		老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これ
			に類するもの等 (特別養護老人ホーム等入居が前提となる施設は、基本
			的に対象外とする。ただし、施設の特性により個別に検討する)
	医療施設		病院(医療法で定義される20床以上の入院施設を持つ医療機関)を対
			象とする。診療所、クリニック等は病床数に限らず、重要性や特殊性等
			により判断する。
	教育施設		大学、高校、養護学校(幼稚園、小学校、中学校は、基本的に公共交通
			機関を利用しないと考えられる施設のため対象外とする)
	大規模		ハートビル法の義務付け対象となる 2,000m²以上の大規模商業施設を
	商業施設		対象とする。ただし、面積要件以下でも、公共交通を利用する等の施設
			特性により必要と考えられる施設については対象とする。
そ	一の他施設		不特定多数の者が利用する観光等施設として『本土寺』また『松戸競輪
		÷ +> +>== +=	場』をその他施設の対象とする。

基準に不適応な施設であっても、施設の特性を考慮すると対象とすることが望ましいものについては、地 区毎の状況を配慮したうえで選定を行った。 (2) 特定経路(案)の設定

主要施設と特定旅客施設(鉄道駅)を結ぶ経路の選定を行う。この経路は、 重点整備地区を選定するための現状評価の一環である「経路の評価」の調査対 象経路を示すものであり、特定経路を確定するものではない。

「特定経路」・・・・・駅と主要施設を結ぶ、有効幅員 2m以上の歩行空間が連続して確保される経路。

「準特定経路」・・・特定経路を補完して回遊性を形成する経路で、駅から徒歩で主要施設に向かう際に日常的に使われる経路。または、地域の中心的な界隈を形成する商店街等の経路。

(3) 地区カルテ

次頁以降、各地区別の主要施設の立地状況及び特定経路(案)を図面で示す。

2

3

1

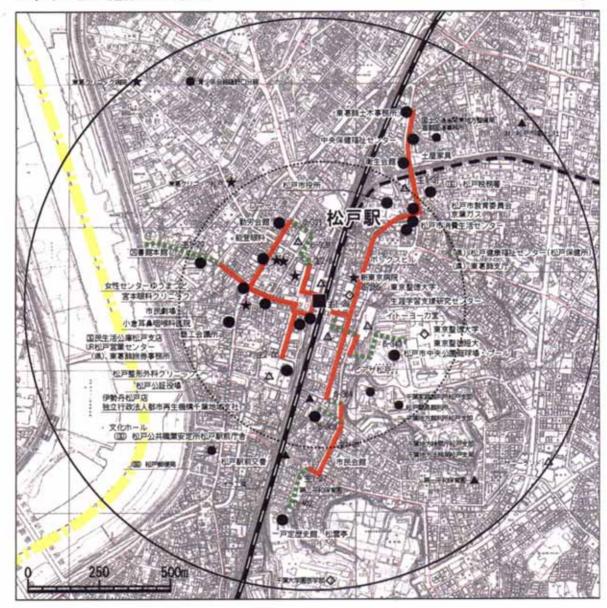
5

6

/

8

☆松戸地区施設立地状況



●公共施設

松戸市役所、松戸市教育委員会、衛生会館、女性センターゆうまつど、市民会館、市民劇場、文化ホール、勤労会館、 松雲亭、戸定歴史館、図書館本館、松戸市中央公園庭球場・ブール、中央保健福祉センター、松戸健康福祉センター (松戸保健所)。(県) 東高縣接券事務所、東高錦県民センター。(国) 松戸税精署。(国) 松戸公共職業安定所松戸 駅前庁舎、IR松戸営業センター。独立行政法人再生機構 千葉地域支社、国民生活公庫松戸支店。(国) 松戸郵便用。 東高錦士木事務所、松戸公廷役場、松戸市消費生活センター。松戸駅前交番、商工会園所 京業ガス

青少年会館種野口分館、国土交通省関東地方整備局省都国道事務所,千葉地方法据局松戸支局,千葉地方模能庁松戸支部、千葉家庭裁判所松戸支部、松戸韓島裁判所,千葉地方裁判所松戸支部

●医療施設

新東京病院

宮本眼科クリニック。能登眼科病院、小倉耳鼻咽喉科病院、東葛クリニック病院

東幕クリニック松戸、松戸整形外科クリニック

●福祉施設

(財) 松戸市福祉公社、第二平和保育園、第一平和保育園、ビオラ工房

●放育施設

東京整徳大学、東京整徳坂大、東京整徳大学生涯学習支援研究センター 千葉大学商芸学部

●大規模商業施設

イトーヨーカ堂。伊勢丹松戸店、ピアザ松戸、Dマート、ボックスヒル、 土屋家具

サニーランド

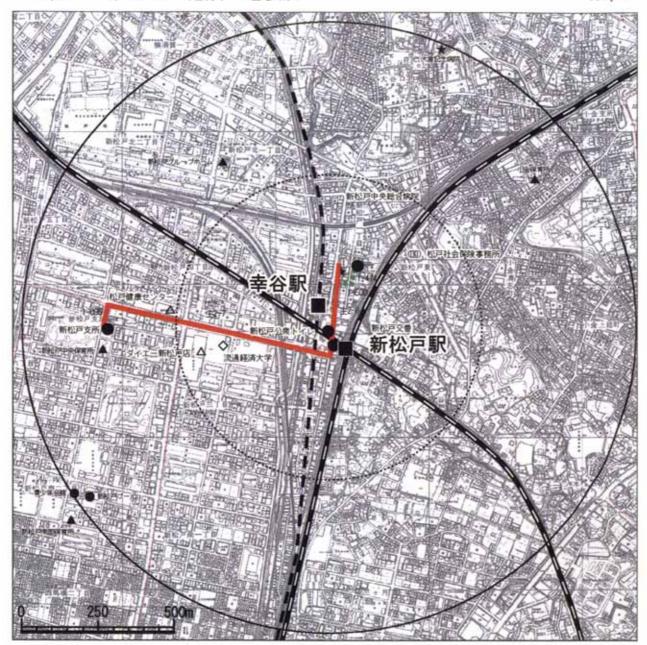
	凡 例
-	特定旅客施設
	公共施設
	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
☆	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
1	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路票(参選2m以上)
	特定経路票(多道2n未満)
	パスルート

下 線 は : 主要施数の要件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置(特定経路(案)で特定施客施 数と連絡もしくは特定経路(案)に無路)から特定施数に 数り込むことが望ましいと考えられるもの

下線 (破線) は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れている。もしくは特定旅客施設から1km以上能れているもの

☆新松戸・幸谷地区施設立地状況

No, 2



●公共施設

斯松戸支所。(国)松戸社会保険事務所、斯松戸交番。 新松戸公衆トイレ

青少年会館、新松戸ブール

●医療施設

新松戸中央総合病院

大倉記念病院

●福祉施設

小金保育所,新松戸中央保育所,新松戸南部保育所。新

松戸グループホーム

●教育施設

流通経済大学

●大規模商業施設

ダイエー新松戸店、松戸健康センター

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
京	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
()	特定旅客施設より500回圏内
6 1	特定経路案(参道2m以上)
	特定経路案(参道2n未満)
nii+	パスルート

下 鮭 は : 主要施設の資件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置(特定経路(楽)で特定旅客施

盤と連絡もしくは特定経路(楽)に隣接)から特定施設に 取り込むことが望ましいと考えられるもの

下鏡 (破鏡) は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れてい

る。もしくは特定旅客施設から1km以上離れているもの

施設名称等は調査時点のものである。

1

2

3

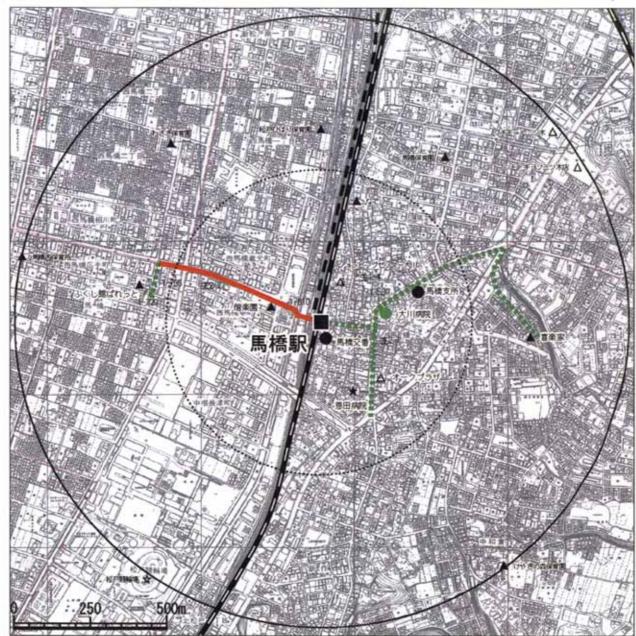
4

5

6

7

8



●公共施設

馬橋支所、馬橋交會

●医療施設

大川病院、恩田病院

●1至7上1年19

ふくし館ばれっと。喜楽家

借來图

なでしこ。いわさき保育圏、松戸ひばり保育圏、馬橋保育圏

、馬橋西保育所、けやきの森保育園

●大規模商業拖設

オークプラザ

プチモールニン木、マツモトキヨシニン木店、ショッピング センター大川

●その他施設

松戸競輪場

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設よりlkm圏内
-	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(参道2m以上)
	特定経路案(参道2n未満)
	パスルート

下 縦 は : 主要施数の要件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置(特定経路(高)で特定旅客施

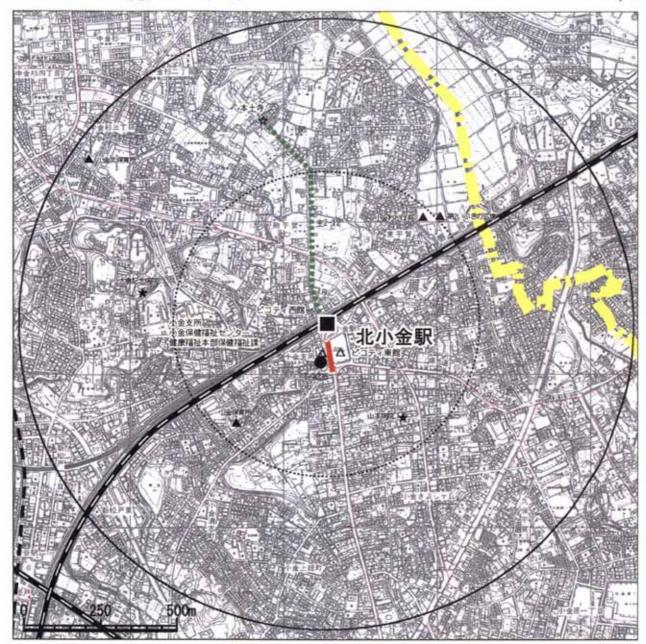
設と連絡もしくは特定経路(家)に顕接)から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線(硫線)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定提路から雇れている。 も、もしくは特定旅客施設から[km以上離れているもの

☆北小金地区施設立地状況

No. 4



●公共施設

小金支所、小金保健福祉センター、健康福祉本部保健福祉課

●医療施設

大倉記念病院、山本病院

●福祉施設

小金わかば苑、第2いぶきの広場、小金地区社会福祉協議会

。.小金北保實所、小金保實所

●大規模商業施設

ピコティ東館

ピコティ西館

●その他

本土寺

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
×	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
()	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(歩道2m以上)
	特定経路案(多道2m未満)
	バスルート

下 綾 は : 主要施設の要件を調かしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置 (特定経路 (家) で特定旅客施 設と連絡もしくは特定経路 (家) に隣接) から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線 (破線) は:主要施数としてのニーズは高いが、特定発路から離れている。もしくは特定旅客施数から | Innil 上離れているもの

施設名称等は調査時点のものである。

1

2

3

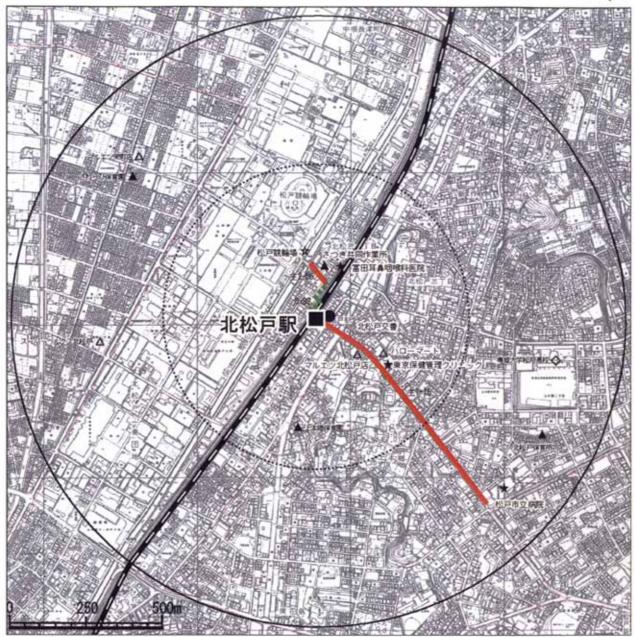
4

5

6

7

8





北松戸交響

●医療施設

松戸市立病院

東京保健管理クリニック。冨田耳鼻咽喉科医院

●福祉施設

さつき井同作業所

さわらび保育圏、上本興保育圏、北松戸保育所

●教育施設

專條大学松戸高校

●大規模商業施設

マルエツ北松戸店、ハローマート

マルエン栄町店、スーパーベルクス北松戸

●その他施設 松戸鎖輪場

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
A	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
A	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
()	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(歩道2m以上)
	特定経路家(歩道2元未満)
-	パスルート

下 綾 は :主要施設の要件を満たしていない項目があるものの。主要 施設としてのニーズ、位置 (特定経路 (案) で特定旅客施

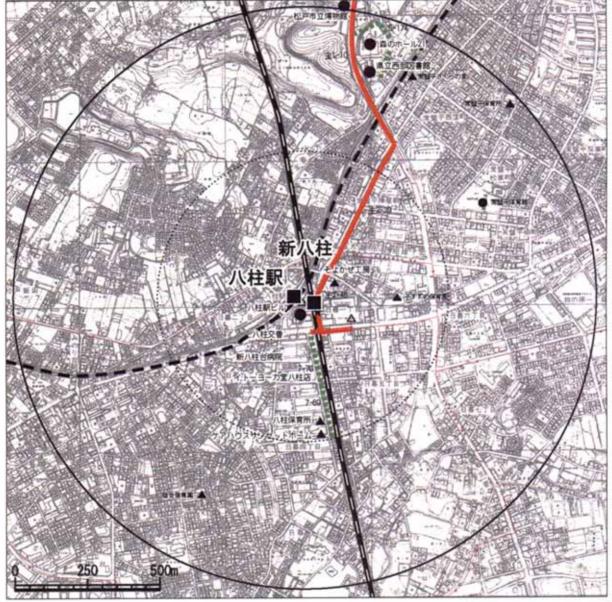
競と連絡もしくは特定経路(楽)に隣接)から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線(破線)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れてい る、もしくは特定旅客施設から1km以上載れているもの

☆新八柱・八柱地区施設立地状況

No, 6



●公共施設

点立西部図書館、森のホール21、八柱交響、松戸市立博物館

常雙平休育館

●医療施設

新八柱台病院

●排於施設

ケアハウスサンセットホーム

そよかぜ工商、八柱保育所

常盤平保育所、子すずめ保育團、栽台保育團、常盤平さくらの家

●大規模商業施設

イトーヨー力量八柱店、八柱駅ビル

	凡 例
-	特定旅客施設
	公共施設
_	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
15	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(参道2m以上)
	特定経路案(参道2m未満)
	パスルート

下 線 は : 主要施設の要件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置(特定経路(案)で特定旅客施 致と適路もしくは特定経路(案)に隣接)から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線(破線)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れている。もしくは特定故客施設から1km以上離れているもの

施設名称等は調査時点のものである。

1

2

3

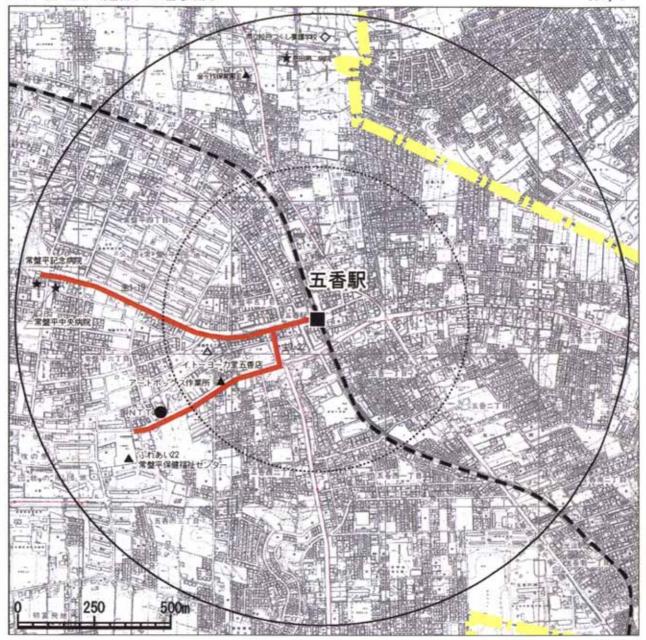
4

5

6

7

8



●公共施設

NTT

●医療指設

常整平記念病院、常整平中央病院

即田第二病院

●福祉施設

ふれあい22、常盤平保健福祉センター

アートボックス作業所

余ヶ作保育園

●教育指设

県立松戸つくし表現学校

●大規模商業施設

イトーヨーカ常五香店

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
A	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
()	特定旅客施設より500m圏内
-	特定経路率(歩道2m以上)
	特定経路案(歩道20未満)
	パスルート

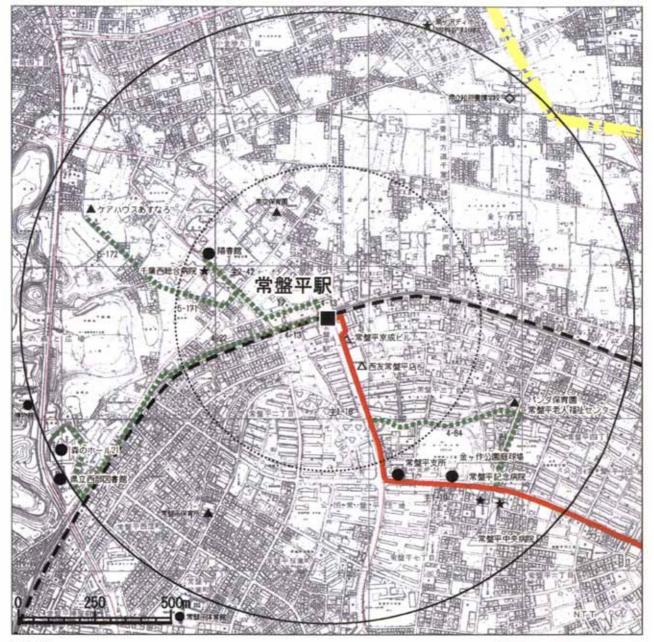
下 線 は :主要施設の要件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置(特定経路(案)で特定旅客施 設と通路もしくは特定経路(案)に開接)から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線 (硫線) は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れている、もしくは特定旅客施設からHanGJ上離れているもの

☆常盤平地区施設立地状況

No. 8



●公共拖設

常盤平支所、県立西部図書館、森のホール21、金ヶ作公園庭球場

博物館、常盤平体育館

●医療施設

千葉西総合病院、常盤平記念病院、常盤平中央病院

第ヶ沢ディホーム、周神経内科病院

●福祉施設

常盤平老人福祉センター

ケアハウスあすなろ、陽春館、パンダ保育所

美空保育團、常繁平保育所

●教育施設

肃立松戸養護学校

●大規模商業施設

常盤平京成ビル、西友常盤平店

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
A	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設よりIkm圏内
()	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(参道2m以上)
	特定経路案(歩道2n未満)
	パスルート

 $\underline{\underline{r}}$ 絵 \underline{t} : 主要施設の要件を満たしていない項目があるものの。主要

施設としてのニーズ、位置 (特定経路(案) で特定旅客范 設と連絡もしくは特定経路(案)に隣接) から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線(破線)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れてい

る、もしくは特定旅客施設からlkm以上離れているもの

施設名称等は調査時点のものである。

1

2

3

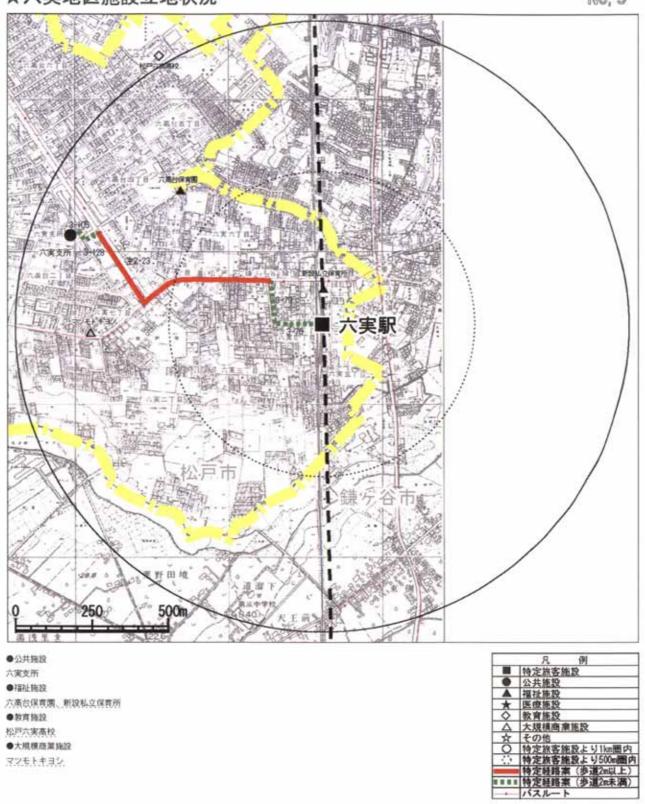
4

5

6

7

8



下線(破線)は:主変施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れている、もしくは特定旅客施設から1km以上離れているもの

☆元山地区施設立地状況

No, 10

2

1

3

4

5

6

7

8

資料

元山駅

●福祉施設 よ)ぶきの広場、第二わかば際、六実保育園、第二松果福祉作業所

●大規模商業施設

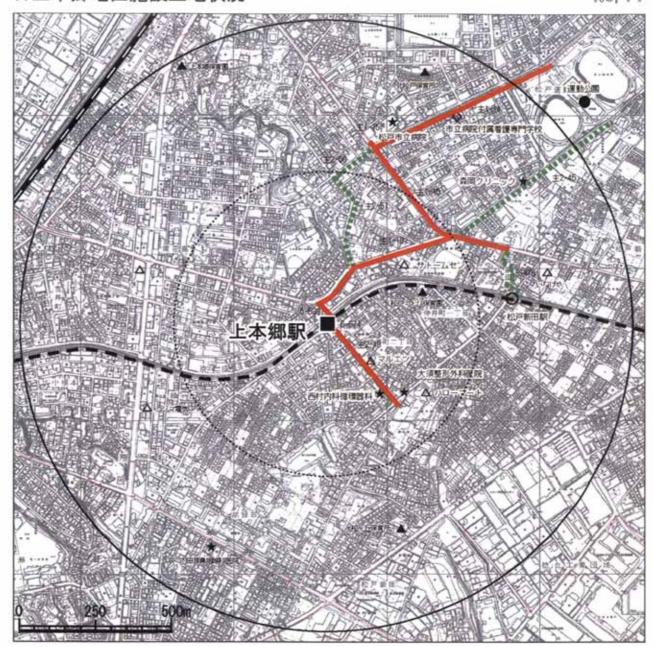
ダイエー五番店

●その他施設

陸上自衛隊

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
A	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
☆	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
()	特定旅客施設より500m圏内
Diam'r.	特定経路案(歩道2m以上)
	特定経路案(歩道2n未満)
	パスルート

下線(破線)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れている、もしくは特定旅客施設からNam以上離れているもの



●公共施設

運動公園

●医療施設 松戸市立病院

大須整形外科医院、西村内科循環器科、森岡クリニック

内田耳鼻咽喉科医院

●?#?£!#£19

上本類保育團、北松戸保育所、松戸ミドリ保育團、松ヶ丘保育所

●教育施設

市立病院付属者護寺門学校

●大規模商業施設

マルエツ上本郷店、サトームセン、ハローマート いなげや、ドライバーズスタンド、コジマ電気

	凡 例
-	特定旅客施設
	公共施設
A	福祉施設
*	医療施設
\Q	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
1	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(多道2m以上)
	特定経路案(参道2m未満)
-	パスルート

下 綾 は :主要施設の更件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置 (特定経路 (家) で特定旅客施 設と連絡もしくは特定経路 (家) に隣接) から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの 下線(破線)は: 主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れてい

る、もしくは特定旅客施設から1km以上離れているもの

☆みのり台施設立地状況

ーマート総台店、ホームピック

No, 12

2

3

4

6

7

8

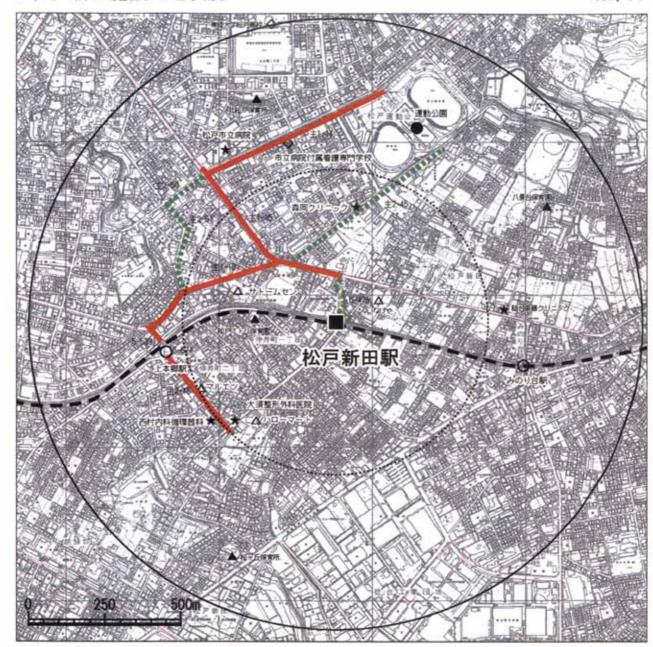
資 料

みのり台駅△ ●公共施設 運動公園 公共施設 ●医療指設 福祉施設 斯八柱台病院、森台森藤クリニック、エマオ耳鼻咽喉科医院。 すずき内科クリニック。 ●福祉施設 ☆ 大級機関果地設
☆ その他
◆ 特定旅客施設より1km圏内
◆ 特定旅客施設より500m圏内
◆ 特定経路案(参道2m以上)
■ ■ 特定経路案(参道2m未満)
バスルート ケアハウスサンセットホーム、若葉寮、八景台保育園、松戸 ミドリ保育圏、八柱保育所、特合保育圏、そよかぜ工房 イトーヨー力掌八柱店、ケーヨーデーツー、サミット、ハロ

施設名称等は調査時点のものである。

る、もしくは特定旅客施設から1㎞以上離れているもの

下台(破論)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れてい



- ●公共施設
- 運動公園
- ●医療施設

大須整形外科医院、西村内科循環監科、森国クリニック

移台斎藤クリニック

●福祉施設

北松戸保育所、八景台保育園、松戸ミドリ保育園、松ヶ丘保育所

●教育施設

市立病院付属看護専門学校

専烽大学松戸高校

●大規模商業施設

マルエツ上本郷店、サトームセン、ハローマート いなげや

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
(1)	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(参道2m以上)
	特定経路案(参道2n未満)
	パスルート

下 綾 は :主要施設の要件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置 (特定経路 (家) で特定旅客施 散と連絡もしくは特定経路 (楽) に隣接) から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線(破線)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れてい る、もしくは特定旅客施設から1km以上離れているもの

☆東松戸地区施設立地状況

No. 14



●公共拖設

東部支所。東松戸交番

東部クリーンセンター、東部スポーツパーク

八柱草原

●福祉施設

東部老人福祉センター

●教育施設

松戸南高校、市立松戸高校

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
A	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
	特定旅客施設より500m圏内
-	特定経路案(参道2m以上)
	特定経路案(歩道2n未満)
	パスルート

下 線 は :主要施数の要件を満たしていない項目があるものの、主要 施設としてのニーズ、位置 (特定経路(案) で特定旅客覧 設と連絡もしくは特定経路(案) に隣接) から特定施設に

取り込むことが望ましいと考えられるもの

下線 (破線) は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れている。 もしくは特定旅客施設から | km以上離れているもの

施設名称等は調査時点のものである。

1

2

3

4

5

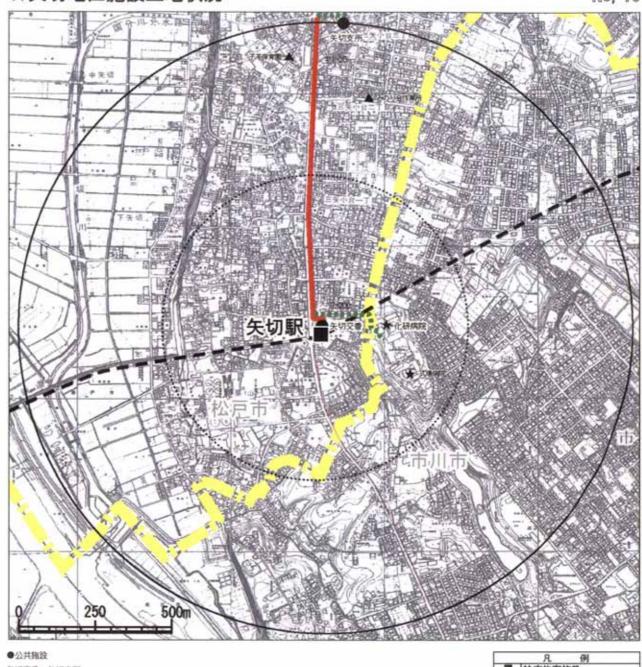
6

7

8

☆矢切地区施設立地状況

No. 15



失切交響、失切支所

●医療施設

化研病院

式場解院 ●福祉指設

子羊保育園、みのり会作業所

	凡 例
	特定旅客施設
	公共施設
	福祉施設
*	医療施設
0	教育施設
Δ	大規模商業施設
*	その他
0	特定旅客施設より1km圏内
	特定旅客施設より500m圏内
	特定経路案(多道2m以上)
	特定経路案(多道2n未満)
	バスルート

下線(破線)は:主要施設としてのニーズは高いが、特定経路から離れている、もしくは特定旅客施設からikm以上離れているもの

5.3.3 地区の評価

(1) 地区別 総合評価

総合評価は、3つの現状評価を基に整備効果の視点から整理することとする。具体的には、現状の評価がバリアフリー化の必要性を示す項目であるため、市内全駅の乗降客数総数に対して、各地区の乗降客数の割合を乗じて定量化した。

総合評価 得点 = (駅の評価得点 + 地区の評価得点 + 経路の評価得点) ×乗降客数(人/日)/乗降客数累計

表 5.6 地区別 総合評価について

	乗降客数 駅の評価		D評価	地区の評価		経路の評価		総合評価	
地 区	_	得点	順位	得点	順位	得点	順位	総合評価点	順位
1.松戸地区	318,872	77	8	100	1	71	9	101	1
2.新松戸·幸谷地区	83,910	71	13	55	3	65	10	20	3
3.馬橋地区	60,398	74	12	35	6	100	1	16	4
4.北小金地区	53,354	76	9	35	6	94	3	14	5
5.北松戸地区	43,862	85	6	29	8	76	8	11	6
6.新八柱·八柱地区	81,648	75	10	58	2	65	10	21	2
7.五香地区	32,391	65	14	52	5	65	10	8	7
8.常盤平地区	18,607	82	7	55	3	82	5	5	9
9.六実地区	16,436	94	3	10	13	82	5	4	10
10.元山地区	18,231	50	15	3	14	24	14	2	12
11.上本郷地区	7,120	100	1	23	10	100	1	2	11
12.みのり台地区	7,890	100	1	3	14	24	14	1	15
13.松戸新田地区	5,264	91	5	23	10	94	3	1	14
14.東松戸地区	29,284	75	10	23	10	82	5	7	8
15.矢切地区	6,340	94	3	29	8	59	13	1	13

乗降者数:平成15年度統計書より(平成14年度データ)。

データが乗車人員のみの場合は、同数が降車すると仮定して算出。

1

2

3

4

5

6

7

8